

保育者自己評価チェックリスト

令和元年度 城下保育園

園の基本姿勢について

1 園の教育・保育理念や目標を理解した上で、指導計画を立てていますか	はい	82%	いいえ	18%
2 個人情報適切に扱うとともに、保護者からの苦情に対し、その解決を図るよう努めていますか	はい	100%	いいえ	0%
3 認定こども園として子育ての支援が必須であることを理解していますか	はい	100%	いいえ	0%
4 園児の事故予防及び救急・救命措置、火災・地震・不審者侵入等を想定した避難訓練などの危機管理ができていますか	はい	85%	いいえ	15%
5 PDCAサイクルを用いて、教育・保育の内容などの評価を行い、その結果を公表するとともに、課題を見だし、質の向上や改善に努めていますか	はい	33%	いいえ	67%
6 就業規則などの諸規則を理解し、守り、業務遂行に当たって正確・迅速かつ、こまめに報告・連絡・相談を実践していますか	はい	97%	いいえ	3%
7 自己が成長するための基本である研修に意欲を持って取り組んでいますか	はい	73%	いいえ	27%

幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標

8 乳幼児期の成長は周囲への依存を基盤にしつつ自立に向かうものであることを考慮し周囲との信頼関係に支えられた生活の中で、園児一人一人が安心感と信頼感を持っていろいろな活動に取り組む体験を教育・保育の中で十分に行っていますか	はい	97%	いいえ	3%
9 園児は、園生活を通し、安定した情緒の下で、自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮していますか	はい	100%	いいえ	0%
10 乳幼児期における自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを理解していますか	はい	100%	いいえ	0%
11 認定こども園法第9条に規定する6つの教育及び保育の目標の達成に努めるとともに、これらが満3歳未満の園児の保育にも当てはまることを理解していますか	はい	68%	いいえ	32%
12 幼保連携型認定こども園の保育を必要とする子どもに該当する園児に対する教育及び保育の時間(満3歳児以上の保育を必要とする子どもに該当する園児については、教育時間4時間を含む。)は、1日につき8時間を原則にしている事を理解していますか	はい	94%	いいえ	6%

幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項

13 在園時間が異なる多様な園児がいることを踏まえ、園児の生活が安定するよう、家庭地域、城下保育園における生活の連続性を確保するとともに、一日の生活のリズムを整えるよう工夫していますか	はい	97%	いいえ	3%
14 家庭や地域において異年齢の子どもとかわる機会が減少していることを踏まえ、満3歳未満の園児を含む異年齢の園児による活動を、園児の発達の状況にも配慮しつつ、適切に組み合わせ設定するなどの工夫をしていますか	はい	83%	いいえ	17%
15 園児一人一人の平常の健康状態や発育及び発達の状態を的確に把握し、異常を感じる場合は、速やかに適切に対応していますか	はい	100%	いいえ	0%
16 園児の疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な環境の維持及び向上に努めていますか	はい	97%	いいえ	3%
17 保育教諭等との信頼関係を基盤に、園児一人一人が主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信を持つことができるよう成長の過程を見守り、適切に働き掛けていますか	はい	93%	いいえ	7%

18	園児の心身の状態に応じた教育及び保育を行うために、園児の健康状態や発育及び発達の状態について、定期的、継続的に、また必要に応じて随時把握していますか	はい	100%	いいえ	0%
19	園児の心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候が見られる場合及び虐待が疑われる場合には、市町村(特別区を含む、以下同じ)や関係機関と連携を図っていますか	はい	83%	いいえ	17%
20	学校保健計画に基づいて、そのねらいや内容を明確に知り実行していますか	はい	34%	いいえ	66%
21	学校安全計画の策定等を通じ、職員の共通理解と体制づくりを図るとともに、家庭や地域の諸機関の協力の下に安全指導を行っていますか	はい	38%	いいえ	62%
22	体調不良、食物アレルギー、障害のある園児など、園児一人一人の心身の状態に応じ学校医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応していますか	はい	90%	いいえ	10%
23	園児の様子や日々の教育及び保育の意図などの説明を通じ、保護者との相互理解を図っていますか	はい	100%	いいえ	0%
24	子育て力の向上及び子育ての経験の継承につながることから、教育及び保育の活動に対する保護者の積極的な参加を促していますか	はい	72%	いいえ	28%

ねらい及び内容並びに配慮事項

25	園児の発達の側面から、5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)とは、それぞれ何に関する領域であるのかを理解していますか	はい	100%	いいえ	0%
26	心と体の健康は、相互に密接な関連があるものであることを踏まえ、園児が保育教諭等や他の園児との温かい触れ合いの中で自己の存在感や充実感を味わうことなどを基盤とし、十分に体を動かす気持ちよさを体験させ、自ら体を動かそうとする意欲を育てていますか	はい	100%	いいえ	0%
27	基本的な生活習慣の形成に当たり、他の園児とかかわりながら主体的な活動を展開する中で、生活に必要な習慣を身につけさせていますか	はい	100%	いいえ	0%
28	「人間関係」とは他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養うことであることを知っていますか	はい	100%	いいえ	0%
29	保育教諭等との信頼関係に支えられて、自分自身の生活を確立していくことが人と関わる基盤になることを考慮していますか	はい	100%	いいえ	0%
30	集団生活を通して、園児が人とかかわり深め、規範意識の芽生えが培われることを考慮していますか	はい	100%	いいえ	0%
31	「環境」とは、周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持ってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うことであることを知っていますか	はい	100%	いいえ	0%
32	園児が遊びの中で周囲の環境とかかわり、次第に周囲の世界に好奇心を抱き、その意味や操作の仕方に関心を持ち、物事の法則性(数量文字等)に気付き、自分なりに考えることができるようにしていますか	はい	89%	いいえ	11%
33	言葉は身近な人に親しみを持って接し、自分の感情や意志などを伝え、それに相手が応答し、その言葉を聞くことを通じて次第に獲得されていく仕組みであることを理解していますか	はい	100%	いいえ	0%
34	園児が日常生活の中で、文字などを使いながら、思ったことや考えたことを伝える喜びや楽しさを味わい、文字に対する興味や関心を持つようにさせていますか	はい	89%	いいえ	11%
35	体験から得た感動を他の園児や保育教諭等と共有し、様々な機会を通して表現することなどを養うようにしていますか	はい	93%	いいえ	7%
36	園児一人一人の生育歴の違いに留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育教諭等が応答的にかかわる様に努めていますか	はい	86%	いいえ	14%
37	生活に必要な基本的な習慣については、園児一人一人の状態に応じ、落ち着いた雰囲気の中で行うようにし、園児が自分でしようとする気持ちを尊重していますか	はい	93%	いいえ	7%
38	探索活動が十分できるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整えていますか	はい	89%	いいえ	11%

39	保育教諭等が仲立ちとなって友達の気持ちや友達とのかかわり方を丁寧伝えてありますか	はい	100%	いいえ	
40	けんかなど葛藤を経験しながら次第に相手の気持ちを理解し、相互に必要な存在であることを実感できるよう配慮していますか	はい	89%	いいえ	11%
41	きまりがあることの大切さに気づき、自ら判断して行動できるよう配慮していますか	はい	96%	いいえ	4%
42	自然と触れ合う中で園児の豊かな感性や認識力、思考力及び表現力が培われることを踏まえ、自然とのかかわりを深めることができるよう工夫していますか	はい	96%	いいえ	4%

指導計画作成に当たって配慮すべき事項

43	指導計画の作成に当たっては、具体的なねらい及び内容を明確に設定し、適切な環境を構成することなどにより、活動を選択・展開していますか	はい	93%	いいえ	7%
44	環境は、具体的なねらいを達成するために適切なものとなるように構成していますかまた、反省や評価を適切に行っていますか	はい	89%	いいえ	11%
45	園児が様々な人やものとのかかわりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達が促されるようにしていますか	はい	96%	いいえ	4%
46	保育教諭等は園児にとっての理解者、共同作者等、様々な役割を果たしていますか	はい	96%	いいえ	4%
47	一日の生活のリズムや在園時間が異なる園児が共に過ごすことを踏まえ、活動と休息、緊張感と開放感等の調和を図るとともに、園児に不安や動揺を与えない様にする等の配慮を行っていますか	はい	89%	いいえ	11%
48	個々の園児の障害の状態や特別な配慮を要する場合などに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うことを理解していますか	はい	96%	いいえ	4%
49	行事の指導に当たっては、園生活の自然な流れの中で、生活に変化や潤いを与え、園児が主体的に楽しく活動できるようにしていますか	はい	93%	いいえ	7%
50	保護者と園児との活動の機会を設けている。また、保護者の乳幼児期の教育及び保育に関する理解が深まるよう配慮していますか	はい	67%	いいえ	33%
51	市町村の独自の事業(敬老会等)及び地域の事業(消防等)へ園として積極的に参加している事を理解していますか	はい	85%	いいえ	15%

その他の事項

52	いつでも安心して休息できる雰囲気やスペースを、保育室をはじめ園内に確保していますか	はい	50%	いいえ	50%
53	「早くしましょう」など、せかす言葉をできるだけ使わないで、一人一人に合わせた対応を心がけていますか	はい	58%	いいえ	42%
54	子ども一人一人に、わかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけたり、「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか	はい	62%	いいえ	38%
55	子どもの名前を呼び捨てにせず、きちんと子どもに敬意を払っていますか	はい	62%	いいえ	38%

人権擁護のためのセルフチェックリスト

1	朝、母親に抱かれてなかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける。	していない	100%	している	0%
2	制作活動で子どもが描いた作品を見て「そこ違うよ。もう1枚描いてみる？」とだけ言って、描きなおすように働きかけた。	していない	100%	している	0%
3	排泄の失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉がけをする。	していない	88%	している	12%
4	子どもが、友だちを叩く等、良くないことをした際に執拗に責めるような言葉がけをする。	していない	85%	している	15%

5	子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	していない	88%	している	12%
6	苦手なことを渋っている子に、「早くやって、できないなら後ろに行って。」と言ったり、他者と比較したりなど、否定的な言葉がけをする。	していない	92%	している	8%
7	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューを全て配膳せず、食べた次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	していない	92%	している	8%
8	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と、他の保護者に聞こえるように言う。	していない	96%	している	4%
9	子ども同士のトラブルが起きた時、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	していない	100%	している	0%
10	自分から訴えてトイレに行く事ができるようになった子どもに対して、「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	していない	77%	している	23%
11	集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「○○しないなら○○できないからね」と言葉かける。	していない	38%	している	62%
12	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、他の子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	していない	96%	している	4%
13	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事ができないんだよね」と言う。	していない	96%	している	4%
14	寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。	していない	65%	している	35%
15	どなったり、「○○しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(鬼等)を使ったりして、子どもを保育者の思い通りに動かそうとする。	していない	58%	している	42%
16	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	していない	100%	している	0%
17	並ぶとき等に子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引っ張る。	していない	77%	している	23%
18	子どもを注意する際に、「だめよ！」と言って子どもの手を叩く。	していない	100%	している	
19	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	していない	100%	している	0%
20	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	していない	96%	している	4%
21	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「○○ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	していない	100%	している	0%
22	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に子どもに、「また○○君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」等の否定的な言葉がけをする。	していない	100%	している	0%
23	いつもぎりぎりの時間にお迎えに来る保護者に「いつもぎりぎりです。」と言ったり保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	していない	100%	している	0%
24	「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち全員に発表してもらう。	していない	100%	している	0%
25	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	していない	100%	している	0%
26	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉遣いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	していない	88%	している	12%
27	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する。	していない	100%	している	0%
28	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	していない	100%	している	0%

29 クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに、「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。

していない 100%

している 0%